

## 元気が出ます!

「いつも、いつも気にかけて頂いて嬉しい限りです。葉書に書かれていますことばの一つ一つに元気をもらいました。生徒のみなさんに御礼を言っておいて下さい。」



気仙沼・陸前高田の被災者の方々や、今なお仮設住宅にお住まいの方々へ桜のポストカードや桜のハンカチをお届けしました。早速電話を頂き、発案者の岩本実行委員は大喜びしました。

次は、箏曲部が演奏した数々の音楽を収めたCDをお届けする準備が進行中です。

**CDジャケットの絵柄を誰か描いてくださいますか。〈詳細は掲示板参照〉**

## つなぐ心 続ける活動を引き継いで

あの日、私たちは小学校の2年生でした。今、私たちは中学に入学しました。そして、実行委員会に所属しました。その理由は次のような思いからです。

私は、少しでもいいから被害にあった人たちの力になりたいと思ったからです。4年以上たっているのにまだ、仮設に住んでいる人や、家族を亡くし悲しみから抜け出せない人、被害にあった人、全員の力・支えになりたい。私は未だ現地に行っていませんが、テレビなどで状況などを理解しています。震災にあった小学校2年の時、「ほんの少しでもいいから被害にあった人の力になりたい。」と思いましたがそのころの私にできることは寄付することだけでした。3月11日を迎えるたびに、復興が進んでいないのに自分には寄付しかできない無力さを感じていました。でも中学に入り実行委員になり、本格的に被災者の力になれると思い、ワクワクして本当に嬉しいです。私がやりたいことは被災者にたくさん手紙を出すことや、購買に募金箱をおいて、お釣りなどを入れてもらうようにしたいです。

私が、小学2年生の時、TVで見た東北の様子は信じられないほど怖かったです。小さい私ですが何か助けができないかを考えていました。そして、4年生の時募金を始めました。小学校全体で2万円ほど集まって、ああやっと役に立つことができたと思い、とっても嬉しかったです。何か助けることができないかを考えるのは中学生になった今でも変わりません。私は実行委員としてやりたいことは、それは人を笑顔にし、助けになることです。

私は、募金を呼びかけ、津波などで被害を受けた町の復興が一日でも早くできるように精一杯の手伝いをしたいからです。私の小学校では毎年2月に難民キャンプに住んでいる子どもたちのためのユニセフ募金をしていました。募金はワクチンや高カロリービスケットになり現地へ送られます。物資を受けた子どもから手紙が届き私は気がつきました。少しのお金でも大人数募金すれば命を救えることを。中学校に入り、実行委員会があることを知り入りました。私がしたいことは、被災者の心に寄り添い続けることです。そのために何をしたらいいかを考えてやりたいことを一生懸命していきたいと思えます。

私は、震災のこと、被災者のことを忘れて欲しくないと思い実行委員になりました。そこで、まず最初の活動として、クラスの人に、震災の日のことや、小学校で被災者にしてきたことなどをインタビューしました。

- 東京に住んでいて、その時車に乗っていました。  
突然地面が浮き上がったかと思った瞬間、バーンと落ちて、もうびっくりしました。
- 当日は被害の様子をTVで見っていました。映画のように思いました。
- 家族が離ればなれになった人も多く、家族を亡くした人も多く、とても悲しいと思いました。
- 小学校では応援するために、手紙とカイロを付けた風船を飛ばしました。
- 小学校の時、ビデオレターを出しました。コマも送りました。

これからも、忘れないために、みんなにあの日のことを聞いていきたいと思います。

# 5. 11ニュースを読む

## 震災4年2か月 死者不明者1万8470人

東日本大震災の発生から4年2か月となり、警察がこれまでに確認した死者と行方不明者は、1万8470人となっています。また、避難生活などで亡くなったいわゆる「震災関連死」は、国のまとめで3000人を超え、「関連死」を含めた震災による死者と行方不明者は、2万1000人を超えています。

警察庁によりますと、警察によって死亡が確認された人は▽宮城県が9539人、▽岩手県が4673人、▽福島県が1612人、▽茨城県が24人、▽千葉県が21人、▽東京都が7人、▽栃木県と神奈川県がそれぞれ4人、▽青森県が3人、▽山形県が2人、▽群馬県と北海道がそれぞれ1人で、合わせて1万5891人となっています。

死亡した人の99%は身元が確認されましたが、依然として82人の身元が分かっていません。また、警察に届け出があった行方不明者は、▽宮城県が1244人、▽岩手県が1129人、▽福島県が202人、▽千葉県が2人、▽茨城県と青森県がそれぞれ1人で、6つの県で合わせて2579人となっています。

一方、復興庁によりますと、避難生活による体調の悪化などで亡くなったいわゆる「震災関連死」は、去年9月末現在で、▽福島県で1793人、▽宮城県で900人、▽岩手県で446人、▽茨城県で41人、▽千葉県で4人、▽長野県と神奈川県でそれぞれ3人、▽山形県で2人、▽東京都と埼玉県でそれぞれ1人の少なくとも合わせて3194人となっています。福島県では、「震災関連死」で亡くなった人が、津波など震災の直接の影響で死亡した人の数を上回っています。

これで、東日本大震災による死者と行方不明者は、「震災関連死」を含めて少なくとも2万1000人を超えています。